

No. 31

新春特別号
令和7年
2025・1・10



日立市視聴覚センター通信
みて、きいて、学びを楽しく

みきまた

編集・発行
日立市視聴覚センター
〒317-0073
日立市幸町1-21-1
電話：0294-24-5055
FAX：0294-24-5066

新年のあいさつ 新たな挑戦と変化の年 館長 鈴木弘嗣

新年明けましておめでとうございます。
巳年の今年、蛇は脱皮をすることから、新たな挑戦や変化に前向きになるといわれています。
昨年は、コロナ禍生活が落ち着いた中で、映画鑑賞会としての「キッズシアター」や「ひたちシネマ」、さらには、地域の上映会などと、活気ある活動が展開できるようになってきました。
改めて感謝申し上げます。
本年もまた、皆様のご支援により本センターとしての使命を果たせるよう努めたいと思いますので、ご支援のほどよろしくお願いたします。



AI時代に考える

特集

驚異の小宇宙 脳と心

ChatGPTなどの生成AIの登場で、AI技術は人間の生活と産業に革命をもたらす可能性を秘めています。

20 万年前に、新人類が誕生し、2足歩行で自由になった手を使い、道具を作り出すことにより、今日の文明は進化、発展してきました。

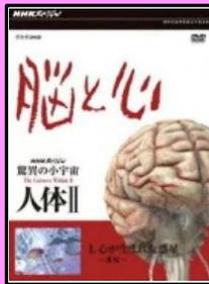
道具としてのAIの進化は、空飛ぶクルマをはじめ人間社会の利便性を高める一方で、大きなリスクが伴うといわれています。最も恐ろしい事象は、人工知能が人間の制御を離れ、自己進化を続けることです。

戦争や地球汚染などの人類史から観て、人間が未来の地球に良い影響を与えないと予測した時、AIは人類排除のための行動を起こすかも知れません。

それでは、AI とどのように共存していけば良いのでしょうか。

その糸口を解き明かすためには、私たち自身の体、特に未知の領域でもある脳、そして心を知ることからがスタートです。

本センターには、NHK が 20 年ほど前に制作、放映した番組「驚異の小宇宙 人体II 脳と心」(全6巻)がそろっています。



これは、当時の最新科学を元に、医学博士・^{ようろうたけし}養老孟司と女優・^{きききりん}樹木希林が案内役となり、脳の仕組みや機能を紹介。自分自身の存在を再認識できる良質な番組です。

NHK スペシャル 驚異の小宇宙 人体II 脳と心

生命の神秘に迫り大反響を呼んだ科学ドキュメンタリー。
1993~94 年に放送。各60分
地球上に最初の生命が生まれて 38 億年。長い進化の歴史の中で、人間の脳と心はいつどのようにして生まれたのか。

- 第1集 心が生まれた惑星 ~進化~
- 第2集 脳が世界をつくる ~知覚~
- 第3集 人生をつむぐ臓器 ~記憶~
- 第4集 人はなぜ愛するか ~感情~
- 第5集 秘められた復元力 ~発達と再生~
- 第6集 果てしなき脳宇宙 ~無意識と創造性~

次世代の子どもたちが、AI と生きるための活用能力を身につける以前に、「豊かな心」が脳の発達と密接な関係を持って育まれる5歳までの乳幼児期が重要であることがわかってきました。やはり、脳と心をよく育てるための原点は、早寝・早起き・よく遊び、好き嫌いせずよく食べることです。しかし、体を持たないAIは、これは必要としません。もしかすると、ここに、共存のヒントが。

近未来を考える番組として、ぜひ、ご利用ください。

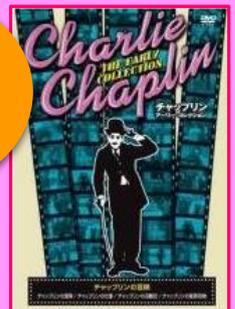
チャップリンの冒険

アーリー・コレクション
Charlie Chaplin

監督・脚本:チャーリー・チャップリン
製作:ミュージアル社

喜劇王“チャーリー・チャップリン”の初期の傑作サイレント(無声)短編映画。「黄金狂時代」(1925)などがチャップリンの代表作として選ばれる中で、その原点ともいえる、「ドタバタ喜劇」から抜け出た最良な作品。初笑いが楽しめます。

今月の
オススメ
鈴木館長



公開: 1917年
時間: 25分
貸出番号: 1200877